

つなごう、盆栽文化を次世代へ！



経済局 商工観光部 観光国際課

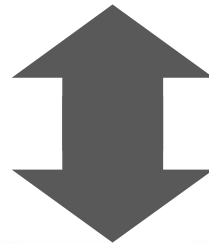
これまでの現状と課題

現状

- 盆栽って育てるのが難しいし、買うのも高そう。
- 「盆栽＝高齢者の趣味」というイメージ。
- 大宮って「盆栽の聖地」なの？
- なかなか盆栽に触れあう機会がないなあ。



さいたま市民



課題

- 若い層を中心に盆栽のPRをしたい又ウ。
- 大宮盆栽村に行くきっかけをつくりたい又ウ。
- 盆栽が親しみのあるものになってほしい又ウ。
- 新たな盆栽ファンを創出したい又ウ。

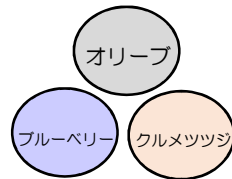


カイゼンの取組

記念樹贈呈事業

目的：緑豊かなまちづくりの一助

①出生届を提出
(各区役所区民課、支所)



②引換券をもらう

③引換券を持って
各区役所案内所へ行く

④各区役所案内所で
記念樹受け取り



ミニ盆栽贈呈の取組

目的：盆栽のPR

NEW!

同じスキームを活用!!

①出生届を提出
(各区役所区民課、支所)



②引換券をもらう

③引換券を持って
大宮盆栽村へ行く

④大宮盆栽村で
ミニ盆栽受け取り



大宮盆栽村に
取りに行く又っ!

⑤大宮盆栽村の職人による
アフターケア

カイゼンの取組

①出生届を提出
(各区区民課、支所)

②引換券をもらう

盆栽のPRも兼ねた
引換券の配布により
大宮盆栽を
約13,000の世帯にPR



せっかくここまで来たから
大宮盆栽村を見てみようかヌゥ!

受け取りに行くその足で
盆栽村や大宮盆栽美術館にも
立ち寄ってもらえる
誘客促進!

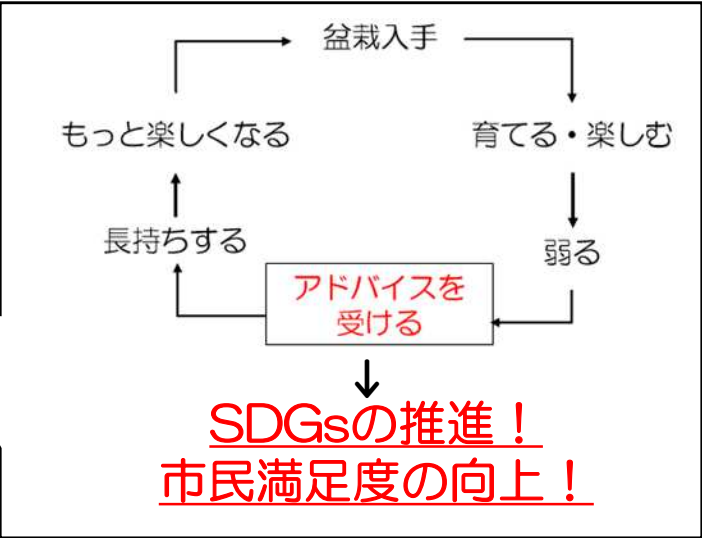
販売所の
売り上げアップにも
産業支援!

③引換券を持って、**大宮盆栽村へ行く**

④ミニ盆栽受け取り

若い世代の
盆栽ファンを
1,300人以上創出
※当初の見込みでは1,000人

⑤大宮盆栽村の職人による**アフターケア**



実績

大宮盆栽のPRチラシも兼ねたミニ盆栽の引換券を 出生の届出をした約13,000世帯に配布

さいたま市政令指定都市移行 20 周年記念

「ミニ盆栽贈呈事業」

お子様のご誕生おめでとうございます。

今年、さいたま市は政令指定都市に移行して 20 周年を迎えました。

その記念として、さいたま市で出生された方へミニ盆栽を贈呈しております。

さいたま市北区にある「盆栽村」は盆栽の聖地として世界中のファンが訪れ、

「大宮盆栽」は盆栽の最上級ブランドとして知られています。

お子様と一緒にミニ盆栽を育てていただき、さいたま市の伝統産業である盆栽の魅力を感じていただければ幸いです。



ミニ盆栽 受取り場所

大宮盆栽協同組合 盆栽共同販売所（大宮盆栽美術館駐車場内）

〒331-0804 埼玉県さいたま市北区土呂町 2-24-3

【営業時間】

・3月-10月 09:00-16:30

・11月-2月 09:00-16:00

【休業日】

木曜日（祝日除く）、盆栽美術館休館日、夏季・年末年始



アクセス



ミニ盆栽の例

※急なお休みもありますので、お手数ですが販売所が営業しているかを電話

（080-8517-3795 ※9:00～16:00）で確認いただいた上、引換券（本紙）をご持参ください。

（受取期間：令和5年5月1日～令和6年3月31日まで）

問い合わせ：さいたま市 経済局 商工観光部 観光国際課

電話：048-829-1236

FAX：048-829-1944

キリトリ線

さいたま市政令指定都市移行 20 周年記念 ミニ盆栽 引換券



区民課・支所
受付印

【ミニ盆栽引換期間】

令和5年5月1日（月）から
令和6年3月31日（日）まで

大宮

OMIYA
BONSAI



大宮盆栽 HP

大宮盆栽村とは

かつて、東京の団子坂（文京区千駄木）周辺には、江戸の大名屋敷などの庭造りをしてきた植木職人が多く住んでおり、明治になってから盆栽専門の職人も生まれました。関東大震災（1923年）で大きな被害を受けた盆栽業者が、壊滅した東京から離れ、盆栽育成に適した土壌を求めてこの地へ移り住みました。

1925年には彼らの自治共同体として大宮盆栽村が生まれ、最盛期の1935年頃には約30の盆栽園がありました。2025年に開村100周年を迎える大宮盆栽村は、いまでも名品盆栽の聖地として知られ、日本だけでなく世界から多くの愛好家が訪れています。

また、さいたま市は、総合的な盆栽文化を発信するために、2010年に世界で初めての公立の美術館として、大宮盆栽美術館を開設しました。



大宮盆栽美術館 HP

実績

計858鉢の盆栽を贈呈(令和5年12月20日現在)

※年間1,300鉢贈呈見込み(当初は1,000鉢の想定)



私たちのカイゼン



事業の目的が異なってもうまく活用することで
盆栽のPR・誘客・産業支援・市民満足度の向上といった
多くの効果を生み出すことができる！！